

さらなるサービスの 向上を目指して

ACTIVE KUMIAI

クリーンネット笛吹協業組合

クリーンネット笛吹協業組合(理事長・藤巻眞史)は、平成21年度山梨県中小企業団体中央会モデル組合指定事業を活用し、講演会の開催及びパンフレットの作成を行った。

当組合は、経済事業である生活系廃棄物及び資源物の収集運搬事業の他に、市と一体となりCO₂削減に有効な手段と考えられる3R

(Reduce…減らす、Reuse…繰り返し使う、Recycle…再資源化)の実施を呼びかけて市内の環境活動に取り組んでいる。これは、組合の経済事業の受注減額に繋がることが想定されるが、笛吹市が掲げる生活系可燃ごみの53%減量目標に賛同し、取り組みに協力している。関連事業として市の職員と連携しBDF精製事業や清掃ボランティア(歩いて町をきれいにしよう会)等を実施しており笛吹市内の環境活動にも寄与している。

また、当組合は、官公需の受注に対し十分に責任をもって履行できる体制が整っていることを証明する「官公需適格組合証明」の他に、環境省が策定したガイドラインに基づいて環境活動を行っている事業者に対して与えられる「エコアクシオン21」を山梨県内の中小企業組合で初めて取得するなど、行政等から高い信頼を持ち合わせている。



BDFを燃料としたトラックについて説明

今回の講演会では、組合員及び組合従業員のサービス力向上を目的に「成功はベクトルの共有から」というテーマで実施するなど、市民に対するさらなるサービスの向上を目指し活動を続けている。



清掃ボランティアの実施